創世記10章

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文責：ツ

概要：系図です。

Q1.ノアの方舟に乗った人間って誰だっけ？

1. のあ、せむ、ヤフェと

(→ここで書かれている諸氏族から諸民族が派生していったと言われている)

Q2.５節「海沿い」とは現在のどこを指しているのだろうか

1. カスピ海

Q3.10節「シンアルの地」とはどこのことであろうか

1. メソポタミア

Q4.14節「.ペリシテ人」について知っている知識を挙げてみて下さい。

1. 海の民、ゴリアテ

Q5.15節「カナン」で思いつくものってなに？

1. 見た目は子供頭脳は大人、約束の地

＊8節の「ニムロド」という人物は11章のバベルの塔の建築を指揮したと言われている人物。

S.Q.ノアから世界中の民族が派生するという考えを「論破ァ!!(F兄風に)」してみて下さい

山本先生：大体の民族はハム語族である。

セム語族は土地を持たないので、土地的なアイデンティティーを持たない。

イスラエルの宗教は他と異なり、土地と関連していない。

まず、前提として論破は間違っている。

ハムがとった行動は人間の弱さを示している？

ツ：どうしてセムとヤフェとは罰せられてない？

山本先生：ほめられてもいないよね。

セムの問題→人間一般につながる普遍的な問題。

たき兄：民族の相違点てなんだろう

山本兄：見た目？

ハ兄：カナンが奴隷～のくだりは黒人奴隷の正当化につながるんじゃないか？

たき兄：言語がばらばらの理由は説明できる？

Ｔ兄：正しい生き方の認識って・・

たき兄：裸に対する恥ずかしさ、服の役割？

Ｉ兄：服を着ていない人間て、他の生物みたい。

山本先生：服を着ないと生きていけないよね？

参考資料



●**ヤフェトの部族**：カスピ海周辺やヨーロッパ大陸、インドにかけて分布。系図をみるとその祖先はインド・ヨーロッパ語族と酷似し、クレタ人、ギリシア人の祖先とさています。

→「**ゴメル、マゴグ、メディア、ヤワン、トバル、メシュク、ティラス**」

●**ゴメル**

→「**アシュケナズ、リファテ、トガルマ**」

　　**・アシュケナズ**：おもに小アジアに移り住みましたが、さらに進んでヨーロッパに渡り、ドイツにも移り住んだようです。イスラエルではヨーロッパ系ユダヤ人のことを「アシュケナジム」と呼びます。

　　**・リファテ、トガルマ**：「リファテ」はパフレゴニヤ人、「トガルマ」はフルギヤ人のことで（ヨセフス）、今のアルメニア人の先祖です。彼らはいずれも、小アジア（今のトルコ）に移り住みました。

●**マゴグ**→スキタイ人のこと。南ロシアの騎馬民族となりました。

●**マダイ**→メディア人のこと。彼らはメソポタミヤにメデア帝国をつくり、のちに兄弟民族のペルシャ人と結託して、メデア・ペルシャ帝国を築き上げました。

　　　　　いわゆるアーリア人は、この「マダイ」の子孫です。アーリアの名は、メデア・ペルシャ帝国の人々が「アーリア人」と呼ばれたことから来ているのです。

アーリア人はインド方面にも移り住み、インドの主要民族（＊現在のインド人は先住民のドラヴィダ人とアーリア人の混血であると言われている。）となりました。したがってインドの主要民族は、ヤペテ系です。

　　　　　さらに、いわゆるゲルマン民族も、ペルシャ人と縁つづきです。つまりゲルマン民族、メデア人、ペルシャ人、インド人はすべて、ヤペテ系の「マダイ」の子孫ということになります。

**●ヤワン：**ギリシャ人のこと。ギリシャ人はヘブル語で「ヤワン」と言う。

→「**エリシャ、タルシシュ、キティム人、ドダニム人**」

　・**エリシャ**：キプロス島に渡った人たち

　・**タルシシュ**：スペイン。スペインには「タルテッソ」という港がある。
　・**キティム人**：キプロス島を支配した民族
　・**ドダニム人**：？？

●**トバル：**旧ソ連の中にある、グルジヤ共和国あたりに移り住んだ。

●**メシェク**：モスコイ人のこと。旧ソ連のロシア共和国付近に移り住んだ民族。

●**ティラス**：エトラシヤ人のこと。エーゲ海周辺に移り住んだ。

●**ハムの部族**：ハムから出た諸民族は、おもにアフリカ大陸や、中近東、パレスチナや、スリヤ（今のシリア）、また小アジア地方（今のトルコ）方面に移り住みました。アフリカに広く拡大したので、ニグロイド（黒人）はハムの子孫ということも出来ます。

→「**クシュ、ミツライム、プテ、カナン**」
　　・**ミツライム**：ミツライムの子孫「パテロス人」（同一〇・一四）などは、今日のエジ

プトに定住した民族です同じくミツライムの子孫「レハビム人」（同　一〇・一三）は、アフリカ大陸北部のリビアあたりに定住しました（同ヨセフス）。

　　・**プテ**：アフリカ北西岸リビア地方に移り住みました

　　・**カナン**：パレスチナ地方から小アジア地方（今のトルコ共和国）に移り住みました

●**クシュ**

→「**サブタ、ラマ、サブテカ、シェバ、デダン**」

　・**サブタ**：アラビア半島南端のハドラマウトに定住

　・**ラマ**：ハドラマウト北方に住んだランマニテ人（エゼ二七・二二）のこと

　・**サブテカ**：ペルシャ湾東側の都サムダケを建設した民族

　・**シェバ**：アラビア半島南西部のマリブを都とする商業国の建設者

　・**デダン**：北方アラビア人となった人々

　・**ニムロデ**：メソポタミヤ地方に強大な王国をつくり、地上最初の権力者となった。

　　　　　　　都市国家バベル、エレク、アッカドを征服して支配していました。

●**ミツライム**

→「カスルヒム人、

　　　・**カスルヒム人**：ペリシテ人の先祖で（創世一〇・一四）、パレスチナ地方に移り住みました

　　　・

●**カナン**

→「**シドン、ヘテ、エブス人、エモリ人、ヒビ人、アルキ人、アルデワ人、ツェマリ人、ハマテ人**」

　　・**シドン**：フェニキヤ人となった人々です。フェニキヤ地方（今日のシリア）には今

も、シドンという町があります。

　　・**ヘテ**：ハッティ人のことです。彼らはのちに他民族・・おそらくヤペテ系民族に

征服され、いわゆるヒッタイト王国の住民となりました。

　　・**エブス人**：エルサレムの先住民族
　　・**エモリ人**：スリヤ（今日のシリア）に移り住んだ民族

　　・**ヒビ人**：パレスチナに移り住んだ民族

　　・**アルキ人**：レバノン山麓テル・アルカ近辺の住人

　　・**アルデワ人**：都市国家アルデワの住民

　　・**ツェマリ人**：都市国家ズムラの住民

　　・**ハマテ人**：都市国家ハマテの住民

●**セムの部族：**セムからは、ヘブル人やアラビア人、そのほか、中近東に住む人々が出ました。

→「**エラム、アシュル、アルパクシャデ、ルデ、アラム**」

　　・**アルパクシャデ**：孫に「**エベル**」という人物がいます（創世記10.24）このエベルはヘブル人の祖先です。（創世記11.14）すなわちエベルからイスラエル人などと呼ばれる人が出ました。

　　・**エラム**：メソポタミア各地の諸民族に派生
　　・**アシェル**：アッシリアの名の由来。メソポタミアの北部付近に定住。

　　・**ルデ**：「リディア人」のこと。

　　・**アラム**；メソポタミアやスリヤ（今のシリア）地方に定住。アラム語はのちにアッ

シリア帝国やペルシャ帝国の公用語になりました。